

平成十七年度

修士論文・卒業論文題目

大学院文学研究科

〈歴史学専攻〉

諫山 暢人 北宋対外宥和政策の考察

朴 壽漢 近代朝鮮における教育史

高良まなび オランダ総督レスター伯の統治

とオランダの主権 (Sovereiniteit)

の形成 〓オランダ共和国の成
立〓

中村 真大 16世紀オスマン帝国の文化発展

とナツカシユ・ハーネ

福永 素久 中近世移行期における城館の成

立と地域社会 〓慶長期九州を

事例に〓

〈文化財学専攻〉

末国 琢也 四隅突出型墳丘墓から見る山陰地

方の様相 〓出雲地域を中心に〓

田辺 弘子 厳島神社社殿と景観の保存

石倉 太介 日本中世に於ける人身売買の諸

課題の考察

井上 加奈 大分県に於ける石塔・石仏・磨

崖仏造立からみた民間信仰

越知 睦和 九州における角錐状石器、三稜

尖頭器の諸問題 〓器種分類と

名称の諸問題から再定義、再分

類へ〓

笠岡 総一 中世神意に関する研究

中村 勝 伝家事業を介しない歴史的町並

み保存手法 〓杵築と臼杵の事

例から〓

史学科

〈日本史専攻〉

安部 翼 薩長連合における坂本龍馬と中

岡慎太郎

安東 正和 徳川三代(家康〓家光)と初期

幕藩体制

石川 聡 剣道の空白時代に関する史的研究

石川 佑一 巖流島

出口 政夫 長崎県の中等教育 〓五島中学

を中心に〓

岩本奈緒美 江戸時代の和菓子

内田 友樹 徳富蘇峰にとつての大江義塾

江頭 朋子 和宮の一生について 〓幕末動

乱期に生きた一人の皇女〓

江口 美穂 大隈重信の下野 〓その背景〓

江藤美穂子 近世の特産物と、その保護政策に

ついて 〓中国・四国・九州編〓

榎本 香奈 日蓮と蒙古襲来

大田翔太郎 島原の乱

大津留 聡 聞き取り調査から考える庄内神

楽の今後 〓今後の庄内神楽継

承の可能性を探る〓

岡田 祥司 えびす神 〓地域的信仰〓

緒方 伸哉 小林寿太郎の研究

岡村 琢弥 水戸学の成立と影響

落合 朋彦 武田信玄の信濃攻略と国内内政

甲斐美友季 江戸時代の司書と図書館事情

〓書物奉行の変遷〓

鍵谷 謙吾 天下統一を夢みた城

梶原 敬士 坂本龍馬と薩長同盟のかかわり

亀野 鉄郎 伊達政宗と仙台城について

川崎有岐夫 真田一族について

北島 知朗 日本の城 〓信長・秀吉・家康

の居城〓

北村 賢悟 武田信玄の戦略と戦術について

日下 加奈 織田信長

乗原 愛 西南戦争 〓人吉隊をめぐる〓

古賀 崇久 江戸の文化と民衆

古賀 健浩 黒田如水の生涯

古川 慎平 石見神楽の伝播と変遷

小西 徹 桶狭間の戦いからみる信長の戦

小林久美子	略と事実の推測 高橋紹運と岩屋城	富崎 雄介	立花宗茂について	森山 祥子	狩野永徳と信長 く安土城障壁 画を中心としてく
坂井 寿歌	幕府の直轄領支配について く天 草代官鈴木重成を中心にく	中川 佳奈	御館の乱について く景勝が勝 利したその因果く	安井 正樹	憲法9条「自衛隊の誕生」 山北さゆり 人形浄瑠璃の衰退の原因
相方 健志	菅茶山 く師と弟子たちく	中川 駿介	庶民の服装の変遷	山口 雅史	毛利元就
櫻谷 弘樹	真田三代期 く真田家の礎を築 いた男たちく	中嶋 勇太	横井小楠の思想 くその政治活 動と生涯く	山根 昌弘	織田信長の城
椎葉 留美	神社祭礼の変遷と目的の変容 く藤崎八幡宮秋季大祭を中心にく	西田 淑恵	特攻隊とメディア	山本 卓弘	鎖国期における長崎出島での貿易
篠原 正江	金子みすゞ発見の背景	野田 佳志	閉ざす日本、迫るアメリカ くア メリカが日本を必要とした理由く	山本 信明	情報化集団としての海援隊
下坂 文久	本因坊秀策の研究 く囲碁文化 史の観点からく	花村 真嵩	江川担庵について	山本 将徳	薩摩藩からみた薩長同盟
下田枝里子	特攻隊員上原良司の研究	原 一哲	明智光秀について	吉田 亮太	戦時中の時代劇映画 く三監督 の「宮本武蔵」を中心にく
須田 輝彦	門川町の近世期の展開 く村の 役割と五人組改帳からみる村落 支配く	廣田 順一	坂本龍馬論の批判的考察	米倉 直哉	別府八湯の歴史について
竹内 忠仁	近代郵便の定着と郵便脚夫	福盛 友子	織田信長についての一考察 く戦 国時代の軍事政策と関連としてく	渡部 敦	長崎貿易について
竹下 泰輔	西南戦争く田原坂を中心にく	藤村 竜平	壬辰倭乱について	〈東洋史専攻〉	
棚橋 広章	明治維新における一会桑の動向	藤原 優	中世前期における上流女性の服 装 く「春日権現験記絵」を資 料としてく	石橋 進也	イスラエルにおける民族紛争と 歴史の経緯
田辺 龍弥	島津義弘の生涯	松田 武瑠	戦後阿蘇の民衆文化 く鯨から 見た阿蘇く	伊藤 俊介	漢代社会における任侠について
谷川 竜介	戦乱を駆け抜けた新撰組	三原 弘	日露戦争と明石元三郎	岩田 大輔	ジャワ社会における共食儀礼
近田 伸平	日本麻雀史の研究	森 健二郎	奄美大島の戦後の日本復帰	岡本 雄二	隋の煬帝
塚本 晃一	備中神楽 く守ること、変わる ことく	森本 雄大	石橋湛山の研究 く小日本主義 を中心にく	加地 紀章	後漢、三国時代の「名士」社会
當山 正洋	坂本龍馬の研究	森山 智史	日米地位協定の考察	川島 竜太	劉備玄德の政權
				小森 敏幸	唐の宗教政策とその影響 く特 に則天武后期と武宗期に注目し てく

佐藤久仁人 タージ・マハルから見たムガル

帝国の興亡

佐藤 俊幸 南朝における寒門・寒人の台頭

について

島津 智広 諸葛孔明とその政治

下原 篤 中国古典文学が日本文学に与え

た影響

清家 詠二 「入唐求法巡礼行記」からみて

とれる「会昌の法難」

田中 英成 後漢王朝における外戚の権力伸

張過程について

田村 啓 孫子兵法

都留 毅 前漢初期政権と諸侯王朝

橋本 宏昭 チャンパ王国

深江 亨 宰相諸葛孔明の政治手腕について

前田 浩平 後漢初期における功臣抑制政に

ついて

松岡 菜絵 楊貴妃と楊一族

丸尾 直樹 朱元璋政権の成立過程について

明田 卷太 中国共産党の対日外交政策につ

いて

森測 貴則 則天武後の登極 武后と関隴集

団・山東集団の動向を中心に

森山 裕子 「インドネシア民族意識の母」

カルティニ 近代女子教育の

草分け

山城 拓也 琉球の東南アジアにおける交易

ネットワーク

山田 学 孫呉の家臣団

〈西洋史専攻〉

赤嶺信之介 イギリスの北米植民地建設

アージア植民地とマサチューセ

ッツ湾植民地を中心に

洗 裕理 ビザンツ帝国の宗教政策

オン三世の聖像破壊令

伊藤 三貴 フランス革命とイギリス

内村 信吾 十二世紀ルネサンスとアラビア

文明

太田 里沙 古代ギリシアの教育

タとアテネの教育

喜多 雄大 初期ゴシック教会堂の成立

ン・ド二修道院とシエジェル

北川 昌宏 イギリス産業革命期の都市労働

者の生活

北村 忠寛 ドイツの宗教改革と農民

清武 京平 第三次中東戦争

倉田 知佳 第二次世界戦争とスイス

神 慶宏 ハンニバルとカルタゴ

佐藤麻依子 バルフオア宣言とシオニズム運動

志手 陽介 第1回十字軍遠征

白濱 啓蔵 ナチズムとユダヤ人迫害

尻無濱 涉 カール大帝とキリスト教会

谷本ゆかり アレクサンドロス大王のペルシ

ア征服

千々和道浩 古代ローマの都市建設と上下水道

中門 賢二 第二次世界大戦とヒトラー

林 康夫 古代エジプト第18王朝と宗教改革

廣木 丈晴 両大戦間期の独ソ関係

不可侵条約を中心に

福留 未佳 イタリア・ルネサンスとパトロ

ン 〓フィレンツェとメディチ

家を中心に

藤澤 一徹 古代ローマ社会と奴隷

奴隷の社会進出

山田 圭美 デイオクレティアヌス帝とロー

マ帝国の危機

龍 実奈 後期十字軍

第4回十字軍の

脇 直樹 英仏百年戦争前史とイングランド

〈世界文化史専攻〉

綾田 侑介 龍とナーガ

2つの神の融合

安東 剛太 ヴァイキングにとつての船

	と展開	今西 謡子	鉄・からみた中央政権と在地首長の関係について	角川 茂	鎌倉時代の鑄造遺物に関する自然科学的研究
神原 郁美	古典期マヤにおける人身犠牲	岩下 直樹	古代阿多隼人の墓制	笠木 将士	水中考古学について ― 歴史と技術 ―
木下 太輝	熊本平野における弥生早期の研究	岩下 史典	縄文時代における北部九州と南部九州の漁労具の比較	片岡 久	九州での金海式甕棺の一考察
上木 智博	ミケランジェロの生涯とルネサンス期の人々の世界観	上原 直樹	「花弁型住居」・「日向型間仕切り住居」の住居形態と住居の変遷	北村 文武	山口県における高地性集落の展開と衰退について ― 県東部島田川流域を中心として ―
清木 愛	征服者の人物像とその影響 ― スペイン人征服者エルナン・コルテス ―	梅野 博騎	肥前名護屋城の研究 ― 陣屋の保存と整備の現状 ―	久貝 春陽	琉球弧における利器の素材
田口 洋平	パレンケ発展における建築物、そしてパカル王と二人の息子	浦川 智行	原の辻遺跡における祭祀土器の研究	釘宮 智史	キリシタン大名大友宗麟と府内大友遺跡
都留 孝宗	古代エジプト人の生と死における概念とその思想	大里 弥生	西北九州における石匙について	黒木 萌	記紀神話と日向の国
西尾 浩宝	ヒッタイトと鉄の関係	鬼武 輝	先史時代(旧石器・縄文)における地域性 ― 山口県の瀬戸内、響灘を主体に ―	酒井 俊行	川辺・高森古墳群の研究 ― 宇佐地方における在地首長の出現と展開 ―
萩原 知洋	縄文晩期に農耕は行われていたのか?	鬼塚ひとみ	奴国の生産遺跡 ― 青銅器鑄型および王類の鑄型を中心として ―	坂本慎之介	「三国志」時代と周辺諸国との関わりについて ― 「魏志東夷伝」の記述をもとに ―
橋田 義英	後古典期末期における「支配」に対しての考察	小野 綾夏	日向における地下式横穴墓の葬送儀礼についての一考察	坂元 裕樹	大分県における中世山城の研究 ― 中世の山城・高崎山城 ―
堀田 雄太	めんの歴史	小畑 正己	大分県の姫島産黒曜石の利用と分布 ― 縄文時代後期のセンター ―	迫留 昌彦	鍍金技法の調査
松元 明	ガウディとバルセロナ	海出 淳平	朝鮮系無文土器の研究 ― 日本における伝播と展開 ―	佐藤 健一	肥前国神埼郡と大和朝廷の関係 ― 伊勢塚古墳を中心として ―
文化財学科					
〈考古学・埋蔵文化財専修〉					
愛川 大祐	兼久式土器の編年に関する一試論	遺跡 ―		島井 伸幸	九州における周溝状遺構の研究
池田 剛	西都原古墳群の出現と展開			新開 栄彌	筑後川中流域と耳納山麓の装飾
伊藤 隼	遠賀川流域の縄文時代の貝塚				

古墳の研究 ― 珍敷塚古墳、日ノ岡古墳、重定古墳を中心に―	鈴木みゆき	装飾古墳における壁画文様×双脚輪状文の起源について―	園田 誠	南九州の土偶	高野 千鶴	臼杵石仏の造立と時代背景	武田 哲緒	縄文時代における対馬と韓国の国際交流	田中 徹思	弥生時代の早良国について―吉武・高木遺跡の意義―	團 茂男	福島県いわき地方縄文時代の漁労活動	堤 広幸	筑紫君磐井と岩戸山古墳	坪井 克訓	絵馬の研究	殿畑 加奈	北部九州における祭祀用土器の研究―福岡平野を中心として―	長尾 真一	大分県内における弥生時代の墓葬について	中原 秀典	近世岡山藩の文化遺産と岡山市の都市形成	中山 裕太	豊後の磨崖仏 緒方宮迫石仏を中心として	名越はるか	芦田川下流域の終末期古墳について	西浦 恵介	対馬における青銅器出土遺跡の
乗峯 慎也	北部九州における袋状貯蔵穴の成立と展開	朴 芝然	金属の劣化実験（別府の環境が金属に及ぼす影響）	波多野芳郎	熊本県井寺古墳の研究―直孤文を中心にして―	花蘭 友美	大和政権の隼人侵攻―	浜田 祐輔	広島県・三次風土記の丘古墳群について	羽山蘭啓次	北九州の縄文時代の石鏃	平ノ内武史	北部九州の細石器その1―糟屋平野の細石器―	平山 景将	東九州の早期押型文土器について―稲荷山式と早水台式との比較から―	廣田 一樹	中期土器に関する一考察 城ノ越式土器の出現と展開	藤澤 順子	沖縄県の縄文時代の貝製品	藤島 幸平	北豊前・京都平野における古墳前・中期の様相	藤平 美保	古瓦からみた伊予国（愛媛県）の古代寺院について―松山平野を中心に―	古川 雄士	北部九州の環濠集落―吉野ヶ里			
益田 豊明	雲仙市国見町百花台遺跡群の石材組成について―百花台遺跡群を中心として―	松村佳名子	文化財としてのモザイク装飾の保存と修復	三城なつき	九州における初期横穴式石室の様相	巳之口佳達	弥生時代の鏡片について	宮崎 央行	伊豆周辺地域を中心とした神津島産黒曜石の流通	村川 貴則	豊後海部地方の古墳文化	本村 幸代	北部九州における弥生時代の絹織物についての一考察	森 達	肥前国庁と太宰府政庁の比較検討―律令制下の中央行政組織による地方支配について―	八阪 賢二	姫島産石器石材の流通	安永 大地	小倉城の歴史―その築城の背景と歴史的意義―	山口 武志	古瓦について	山本 淳平	古代・中世の厳島信仰―平氏を中心にして―	山本 孝	古墳時代の遠賀川下流域	山本 優子	長府の町並みと保存とその現状	

検討

遺跡を中心として

- 若林 哲朗 古墳時代の臼杵
- 〔環境歴史学・民俗学専修〕
- 河野 佳苗 家系の研究く河野氏の一例く
- 磯部 永幸 西瀬戸地域と大友水軍の動向
- 岩本 武士 豊後国竈門荘の研究
- 尾形 晶生 木曾三川を題材とした近代化遺産学習
- 岡田麻衣子 町並み保存の整備事業に関する研究―島根県津和野町を事例地として―
- 緒方 康弘 肥後北部における板碑文化の成立と展開
- 岡部 浩昌 道路開発における住民意識の変化とその諸問題
- 岡村 歩 別府観光く人々は旅に何を求めるのかく
- 尾中雄一郎 建築史から見た天満宮の研究―太宰府天満宮と北野天満宮の社殿形式について―
- 小野美佐子 大分県の獅子舞―歴史的経緯と現状・未来に向けての保存について―
- 賈 森 宗教信仰から見る中日両国の歳時節日の伝承と比較
- 金岡 保文 民族差別が起こる原因は何か差別発生の心的構造
- 金田 哲也 宮廷歌人柿本人麻呂
- 葛原進之介 神の山「香春嶽」の歴史―山を見つめる人々の目線から―
- 後藤 浩之 湯布院における交通社会実験の考察
- 坂本 慧 イラブ―漁復活からみた島の過渡期―沖縄県久高島を事例として―
- 迫 真由美 子どもの地域認識力と現代に求められる子ども像く民俗芸能が子どもに及ぼす影響（大分県を事例として）く
- 津田 雅文 日本最初の教会 大道寺
- 仲原 裕子 伊良部島の巫女信仰―司による巫制とその祭祀―
- 西川 慎一 九州・沖縄における伝統的狩猟の儀礼
- 樋口 直孝 別府竹細工の内部構造
- 深川 由香 女性犯罪の実像―『口書集』にみる女たち―
- 藤村 理恵 平安人の「愛」の形態
- 藤原 圭佑 筑豊田川の神幸祭く光明八幡社の神幸祭を中心としてく
- 淵上 正義 佐賀県における浮立の発展
- 別府 慶彬 えびの市の水田から見る田の神像
- 三浦 麻記 近世期雨乞儀礼の研究く中村平左衛門日記を素材にしてく
- 山根 一洋 浄土真宗・安芸門徒と毛利氏
- 吉田 勇章 姫島の盆踊り―その性格と現代における意義―